

われもこう

第93号

2015年9月25日発行

高槻ライフケア協会

題字 山中 一晃さん

認知症になつても安心して暮らせる街づくりについて

高槻北仁寿会ケアプランセンター

管理者 赤井 康代

早いもので、福祉の世界に入つてはや20年になります。結婚し3人の子どもに恵まれ専業主婦として15年母親業に専念していました。子どもの成長とともに私もパートにデビューすることにしました。やつと思う仕事に就けたものの時代の流れ、人員削減で一番先にその対象となるのは主婦のパート。これではダメと一念発起したものの専業主婦15年の私に今から取れる資格は簡単にはありません。友人から教えてもらったのが、ホームヘルパー2級。福祉に全く興味のなかつた私にとっては何が何やら全く分からない世界。研修を受け「あなたも専門職の一員です。プライドを持って頑張ってください」と講師の方に言われても、いざ現場に出てみると、「お食事はどうなたに作ってもらつておられるのですか」と利用者の方に尋ねてみると「シルバーさんが来てくれて作ってくれています」との返答。あなたの方がシルバーさんで私がヘルパーさん…仕事は毎日楽しく私

なりにやりがいを感じてはいるものの職業としてのヘルパー・専門職としてのヘルパーの地位の低さ、世間の認知度の低さには常に強く疑問を感じていました。

自分自身が年齢を重ねヘルパーとしていろいろと思うところがあるなか…これから地域福祉の核となるのはやっぱりヘルパーさん…そのヘルパーさんの質の向上・地位向上に向けての活動が私にとってのライフワークと思うようになりました。

ひとことでヘルパーの質の向上・地位の向上と言っても簡単なことではありません。私は、ヘルパーさんとしての「あるべき姿」を自分の言葉で伝えていきたいと日々機会あるたびに声を大にして訴えています。今、福祉に必要なことはまずきちんとした教育です。きちんと積み上げていく理論と実績です。福祉は人が財産です。良い関わりが良い輪を広げていきます。良い人との出会いがまた新しい仲間を増やしていきます。少しずつか

もしれません。私は少しずつその良い人の輪を広げていきたいのです。

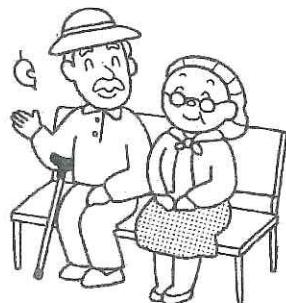
介護の世界、3Kの職場と言われ挫折する人も多くあります。やはり重介護には若い人の力が必要でしょう。でも今、認知症の対応こそ専門職であるヘルパーさんの出番だと考えています。ヘルパーさんは、ご本人との時間の共有・共感が出来ます。「ゆっくりと話す」「穏やかにはつきりと」「優しい口調で」「相手の言葉に耳を傾ける」… ヘルパーさんの得意技そのものが認知症ケアで言われていることなのです。

もっと現場のヘルパーさん自信を持ってください。地域福祉の核となって、住み慣れた自宅で認知症になっても安心して暮らせる街づくりには必要不可欠です。「認知症…さあ大変！」じゃなくて、すぐ近所にすぐそばに相談できるヘルパーさんがいてくれる。こ

の存在感はとても大きいと思います。そこから相談を広げていけばいいのです。相談できるヘルパーさんが近所にいてくれるということをもっと自己発信してください。

向こう3件両隣、なじみの人がいる中で今の生活を続けていくことが認知症の方にとって一番安定した時間が過ごせるのです。自助・共助・公助、あと、これからは近所です。向こう3軒両隣・かみなり親父・おせつかいおばさん・井戸端会議が相談窓口、日本の文化万歳です！！！

任せてください。これから地域福祉には私たちが頑張りますから…。



AED研修に参加しました

ケアワーカー 川戸 初子

8月28日(金)、くらし創造の家朋(とも)で実施されたAED研修を受けました。私はこの職業についてから、救命救急研修は、毎年1回、出来る限り受けるようにしています。

初めて受けたのは19歳の時で、当時はまだAEDはありませんでした。それから30年以上経ちますが、心肺蘇生法は少しずつ変わっています。変わったのは、胸部圧迫の回数、人工呼吸は必須ではない等ありますが、今回から呼吸確認時の気道確保はカットすることになりました。さて、実際自分が心肺蘇生実習を行う番になり、昨年までの研修が頭にインプットされているせいで、「えっ？ 気道確保は？」と、配られた資料にないのに、講師を振り返りながら悩んでしまいました。胸部圧迫が大事ということで、今回の改正でカットになったそうです。何回も研修を受けていると戸惑います。

傷病者を発見した時、オロオロだけせず、進んで救助者になれる自分でいたい。そんな思いで、今回の研修も受けさせていただきました。

地域交流センターあすなろの 活動がはじまりました



コミュニティ・カフェを開く

日吉台一番町に小規模多機能型居宅介護“あすなろ”が開所して半年が過ぎました。“あすなろ”には地域交流センターがあり、地域の人たちの気軽な集いの場になるよう、5月からコミュニティ・カフェを定期的に

開き、コーヒーなど飲物を提供しています。地域交流センターやコミュニティ・カフェは、公的な補助金がない任意の自主事業で、事業の企画運営は、日吉台や奥天神・天神山地域の住民が担っています。

地域連携事業の助成決定

独立行政法人福祉医療機構の平成27年度地域連携活動支援事業に「一人暮らしや認知症高齢者の居場所づくり事業」で応募したところ、9月8日付けで助成決定の通知をいただきました。この事業は、高槻市社会福祉協議会、高槻市薬剤師会、認知症の人と家族を支える会、日吉台自治連合会、天神山地区福祉委員会、日吉台・

北日吉台地区民生委員協議会と連携し、円滑な実施と推進を図ることになります。

7月からスタートしたミニ・セミナーでは、日吉台自治連合会上田会長の「わが町の地域防災活動」、高槻市長寿生きがい課「認知症サポーター養成講座」、高槻市薬剤師会「正しい薬の飲み方」を月1回開催し、10名から15名の参加がありました。

利用者も参加する歌声喫茶

市民の善意でピアノの寄贈があり、調律師が「日本の良き時代のピアノですね」と言うピアノを早速利用して、歌声喫茶も6月から月1回のペースで始まりました。

「歌声喫茶」は、地域の方たちの中に小規模多機能型居宅介護の利用者も参加して、なつかしい時代の愛唱歌を唱和しています。先生によると「利用者と地域の方が一緒にすることははじめて」という活動も、小規模多機能型居宅介護にある地域交流センターならでの取組みです。この外、囲碁・

将棋の会など地域の方のご協力で活動しています。

また、認知症の人と家族を支える会との連携でサロン“あすなろ”を月1回、第1木曜日に開催しています。物忘れの不安のある方も、お喋りや手仕事をするなかで気分や気持ちも軽くなる効果もあることでしょう。

9月は水曜日・木曜日・金曜日に、コミュニティ・カフェを開いています。ぜひ、一度お訪ねください。お待ちしております。

事業所だより

昼食の後、ゆったり時間を過ごしてから、「さあ、頭の中の体操です」と熟語トランプをしています。小学校の低学年くらいで習う漢字が1文字ずつ書かれたカード54枚をテーブルに広げ、2枚を選んで熟語をつくるゲームです。

100語を目標にスタートすると、早速Hさんが「身と重で身重。思い出すなあ～」と先陣を切りました。Kさんが「気と色で色気や」と続くと、「昔はあったが今はない」とN

通所介護

さんが返して大笑い。出足は好調で次々に熟語ができましたが、やがて頭打ちに。意外な難しさに、最初は漢字が簡単すぎるのか興味がなさそうだったOさんも、次第に身を乗り出してきました。おやつの時間まで皆で知恵を絞って約80語できました。「楽しかったけど、頭が疲れた～」と感想が飛び出し、充実のひとときでした。解説によると500語以上できるそうで、「次こそは」と楽しみにされています。



訪問介護

発熱から長期入院となり医療的ケアが必要となったMさんは、在宅一周年を無事自宅で迎えて、妻から感謝の手紙をいただきました。在宅生活は無理かもしれないという状態から、妻の強い希望で退院後は自宅で様々なサービスを利用しながら、穏やかにこの日を迎えるました。訪問介護のスタッフは医療的ケアの研修を受け、痰の吸引や胃瘻の注入食に対応できる体制をつくり、一年間、無事支援できたのを安堵し喜んでいます。

仲の良いご夫婦で、部屋には妻から夫への感謝の言葉を綴った手紙が掛けられ、七夕の笹飾りなど四季折々の手作りの品も欠かさず飾られています。

後日、実はMさんは、スタッフの高校時代の恩師だったことがわかりました。当時のことを思い出し、少しでも恩返しをしたい気持ちもプラスしながら、支援させていただいている。

くらし創造の家 朋(とも) 生活介護

暑い日が続く中、生活介護では夏祭りを開催しました。ヨーヨー釣り・ひも引き・射的・魚釣り・コイン落としなど、なつかしい遊びが盛りだくさんで、普段おとなしいSさんも、景品をねらって大はりきり。Iさん、Uさんは

子どものようにはしゃぎ、射的に夢中でした。

ゲームの合間に食べる屋台のおやつもまた格別のお楽しみで、フランクフルト・かき氷・お好み焼き・たこせんなど皆さん的好物ばかり。お祭り気分が盛り上がりいました。

くらし創造の家 朋(とも) 小規模多機能型居宅介護

新しく朋(とも)の利用者となった N さんは、最初は小規模多機能型居宅介護の通いがどんな所か、何をするのか全然わからないので、来所するのに少し抵抗があったようでした。けれども、4 年前から朋(とも)を利用している M さんと、最初の日から意気投合。年齢も一緒、家も近く、以前の仕事も

同じ、その上、ご主人の亡くなった年齢も同じということで、話が尽きない様子でした。「次はいつ来るの?」と、朋(とも)に来るのが楽しみになっている N さん。利用者同士の関係の大切さをあらためて感じた出来事でした。

あすなろ 小規模多機能型居宅介護

夏場、ゴーヤを植栽して緑のカーテンによる自然の涼を活用しました。園芸のことはよく知らないまま、省エネ対策として取組み始めましたが、苗の植付け間隔や水遣り、肥料のことなどは全て、利用者の一人である野澤さんから指導と助言をいただくことができました。野澤さんはあすなろ利用者の一人で、あすなろの運営推進会議のメンバーでもあります。かつての農民組合での豊富な経験もあり、園芸部長とお呼びして、栽培の知恵を授けていただいています。

ネットを張るのは大家で隣人の中川さんの手をお借りし、奥様からは手作りの腐葉土をいただきました。大阪府地球温暖化防止活動推進員でもある事務職員を先頭に、ス



タッフ一同ゴーヤの世話を精をだし、利用者の皆さんも成長を楽しみにされました。期待以上の収穫があり、調理員の岩村さんが腕を振るって、いろいろなゴーヤ料理があすなろの食卓に並びました。

最近、玄関の南側の溝地に土が入りました。食材にもなるような鑑賞性植物はないものかと、利用者の皆さんと一緒に思案しています。園芸の取り組みが、あすなろの糸になればと期待しています。



10月10日(土)

城跡公園 社会貢献の広場

大阪泉州産塩わかめを販売、妖怪ウォッチのグッズが当たるくじ引きも

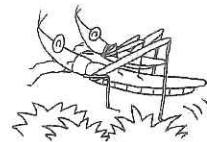
ジャズの生演奏を聴きながら高槻の食を楽しむ『食の文化祭～高槻ジャズ&グルメフェア2015』が、10月10日(土)と11日(日)の2日間、高槻城跡公園と市民グランド一帯で開催されます。

高槻ライフケア協会は、10月10日(土)、城跡公園内の社会貢献の広場にブースを出して協会の事業を紹介します。

食の文化祭 に出店

リサイクル品や飲物の販売の他、今年は、大阪泉州産の塩わかめも販売します。子ども向けには、人気の妖怪ウォッチのグッズが当たるくじ引きもあります。特等は長さ75センチのビニールハンマーです。

小さなお子さまも一緒に、是非、高槻ライフケア協会のブースにお立ち寄りください。



36回を迎える「あんしんサロン」

くらし創造の家 朋(とも)で毎月第2日曜日の午後2時～4時におこなっている「あんしんサロン」が、この10月で36回を迎えます。10月のサロンでは、農ある暮らしのアドバイザーをされている鈴木健太郎さんをお迎えして「美味しい野菜の見分け方」と題して語っていただきます。

今年度のサロンは、2月にお越しいただいて好評だった水野吹美笑さん指導による「笑いヨガ」に継続的に取り組んでおり、既

に6月・9月と実施し、今後11月・1月・3月と実施予定です。

また5月のサロンでは、たかつき市民活動ネットワーク理事長の山下征紀さんに「漫画から学ぶ老人力」のテーマでお話しいただき、高校生の漫画をヒントに老人力について語り合いました。

7月のサロンには、朋(とも)の協力医療機関で看護師をされている方のご子息で音楽講師の江口隆法さんにお越しいただき、ナツメロの合唱やアコーディオン演奏で楽しいひとときを過ごしたあと、江口さんがおこなつておられる刑務所訪問時の話など興味ある話題で盛り上りました。(4月と8月は「春の交流会」とお盆のためお休みでした)

サロンにはどなたでもご参加いただけますので、一度ぜひ足をお運びください。



サービス提供実績報告 (2015年6月～8月)

◇社会福祉法人

《訪問介護》

利用件数	2,170 件
利用時間	2,267.56 時間
生活援助	1,290.92 時間
身体介護	976.64 時間

《介護予防訪問介護》

利用件数	1,066 件
利用時間	1,067.67 時間

《ケアワーカー派遣サービス》

利用件数	392 件
利用時間	440.5 時間
家事援助	238.0 時間
身辺ケア	42.0 時間
社会的援助	160.5 時間

◇特定非営利活動法人

《福祉移送サービス》

利用件数	29 件
利用時間	1,760 分
利用距離	563 km

《障害福祉・居宅介護》

利用件数	3,342 件
利用時間	3,901.76 時間
家事援助	1,200.25 時間
身体介護	1,612.51 時間
通院介助	232.75 時間

《重度訪問介護》

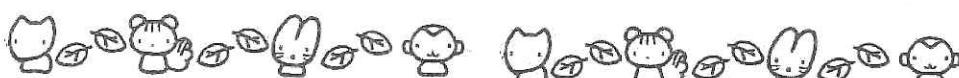
利用件数	166 件
利用時間	295.50 時間

《同行援護》

利用件数	255 件
利用時間	560.75 時間

《移動支援》

利用件数	637 件
利用時間	1,787.0 時間



物品販売にご協力ください

□コーヒー（豆、挽）

焙煎工房タイムリーのティールーム
で使用している特別焙煎豆

1 kg : 1,700 円 500 g : 850 円

□産直りんご

長野県の岩下りんご園から秋の味覚
*シナノスイートやシナノゴールド
(10月10日～) ご相談ください

*サンふじ

(11月10日～) ご相談ください

*りんごジュース

1 箱 6 本入り 4,200 円

□島原手延べ素麺 眉山の糸

長崎県島原市の白山製麺製です。

1 kg～5 kg : 1,200 円～5,300 円

*高柳市、茨木市、島本町、枚方市は
送料無料（その他の地域は実費）

□おとひめこんぶ

南北海道椴法華村の黒口浜一帯で育成
された真昆布一年物です。

1 袋 : 500 円

受講生募集中 (<http://www.tcn.zaq.ne.jp/tlca/>)

□介護職員初任者研修 10月17日(土)～2016年3月26日(土)

- ・会場：高槻ライフケア協会北園町研修室他
- ・受講料：65,400円（テキスト代含む）
- ・介護職の入口となる研修です。
- ・週1回の通学制で無理なく勉強が続けられます。
- ・修了するとホームヘルパーや施設の介護職員として働くことができます。
- ・詳しい日程はホームページにも掲載しています。まずは、お電話でお問い合わせください。

ご協力に感謝します（敬称略・順不同）

<社会福祉法人> 2015年6月1日～8月31日

◇寄附金 2015年度累計 2,426,000円

吉川信子、濱田了子。

◇寄贈

武谷利子、藤森善重、比田勝和則、岩田由美

<NPO法人> 2015年4月1日～8月31日

◇後援会費 2015年度累計 330,000円

個人会員：久良善子、加茂野淳一郎、小山周一、深尾政子、池上澄雄、武内克郎（秋子）、伊藤俊子、岸根正博、松岡由美子、厚東まどか、田辺俊男、金田邦美、嶋田君子、小田裕美、川戸初子、村上松代、三隅慶子、濱浦久美子、村上雅子、松野佳三、澤田知子、河合賀代子、城牆辰夫、小林美美子、小林フジ子、阪本恵美子、小野美鈴、下村寿美恵、池本律子、小沢福子、服部章子、古元美枝子、三俣玲子、牧野喜代子、宮脇郁子、井上昭太郎、矢倉里美、松倉弘枝、植田旬子、高橋郁子、西嶋和子、豊田耀子、鈴木みどり、高野孝、水谷信弘、濱田了子、丸岡トシミ、中城幸野、平尾欣子、榎木眞吉、尾畠美智子、三原道恵、

子、白岩カズ子、井上吉弘。

◎社会福祉法人高槻ライフケア協会への寄附金は、確定申告の際、税額控除制度の適用を受けることができます



室田千津子、梶谷忠太、重松良一、林玲子、鶴野玲子、新保幸子、松崎貴之、兵頭早苗、大神尚武、瑞野紳子、中谷日出子、硼屋佐智子、天濃紀久子、岡本茂、藤森美和、大槻信子、丸山美紀、梅田和子、平井明子、川端尚子、市谷栄一、吉川信子、奥田稔、伊達ヒロミ、橋本紀子、布施和生、山口重雄、鍵谷誠一、杉本栄、西林操。

法人会員：社会福祉法人北摂杉の子会、社会福祉法人あい・あい福祉会、社会福祉法人花の会、税理士平成事務所、有限会社川居精米所、介護老人保健施設ふれあい。

◇寄附金 2015年度累計 26,000円
丸岡トシミ、新保幸子、丸山美紀、深尾徳彦（政子）、中島脩（恵子）。

【編集後記】

透明感のある秋の空を見ていると、この向こうに宇宙が広がっているんだなあと思うことがあります。先日、宇宙飛行士の油井亀美也さんが、滞在中の国際宇宙ステーションから手記を寄せて、私たちの暮らす大気圏は地球上の薄い膜のような存在、争いや汚染は恥ずべきことだと感じると語っておられました。忙しく過ごす毎日にも、時々思い出したい言葉です。

社会福祉法人高槻ライフケア協会 特定非営利活動法人高槻ライフケア協会

〒569-0806 高槻市明田町5-7

TEL (072) 683-4945

〒569-0802 高槻市北園町4-19

TEL (072) 682-4119